

2014



石神井中だより

平成26年4月11日発行 4月号

- 明るく、健康な生徒
- 正しい判断力を持ち、主体的に
学び行動する生徒
- 豊かな情操を持ち、品位ある生徒

<http://www.shakuji-j.nerima-ky.ed.jp/>

平成26年度の始まり

校長 田中 隆史

平成26年度が始まりました。本年度は195名の新入生と2名の転入生を迎え、全校生徒653名、全校21学級でスタートしました。都立石神井公園や区立石神井松の風文化公園に隣接した緑豊かな自然環境の中に位置する本校には、開校以来67年間に培われた明るく伸びやかな気風が伝統として脈々と受け継がれています。

行事に熱く燃え、何事にも全力を尽くそうとする本校の伝統や明るく伸びやかな気風をさらに継承し、発展させていくため、昨年度に引き続き6つの取組目標を掲げ、その達成に向けて取り組んでまいります。

- 生徒に学ぶ喜びと意欲をもたせ、確かな学力の定着と向上に努める。
- 豊かな心を持ち、前向きな生き方のできる生徒を育てる。
- 生徒の能力や良さを最大限に引き出す教育活動を推進する。
- 心身ともに健康で生き生きと活動する生徒を育てる。
- 生徒が安心して活動できる学校環境をつくる。
- 保護者や地域との連携を深め、協力体制をより強化する。

本年度は、昨年度の理数フロンティア校に加え、小中一貫教育研究グループ校・特別支援学級研究発表校として、次のような研究活動に取り組んでまいります。

理数フロンティア校

4名の理科教員が、引き続き「科学に対する興味・関心を高めさせるための工夫」をテーマに効果的な教材や指導法の開発に取り組めます。特に、思考ボードやICTの活用について研究を行います。10月1日（水）の理数教育地区公開講座では、この研究を生かした授業を公開します。

小中一貫教育研究グループ校

今年度から2年間にわたって石神井小・上石神井北小と「学びへの意欲を育てる小中一貫教育」をテーマに小中一貫教育の研究を行います。9年間を見据えた国語・数学・保健体育の総合的な学習の時間の課題改善カリキュラムを作成し、小中学校間の学びの連結を強めていきます。

特別支援学級研究発表校

「自立と社会参加に向け、互いに学び高め合う生徒の育成」をテーマに十文字学園女子大学教授岩井雄一先生の指導をいただきながら、人間関係形成能力を培うキャリア教育や総合的な学習の時間の在り方を探ります。この研究内容や成果については、12月22日（月）に本校で発表します。

これらの研究活動を通して学んだ知識や身に付けた力量を日々の教育活動に還元させることで、個に応じた教科指導の充実、確かな学力の定着と向上につなげていければと考えています。

本年度も石神井中学校の教育にご理解とご協力をお願いいたします。